

てあつたのを忘れてゐた……」

吾々は罪を悔ゆるラズノチーニッツ達が少しもこのことに気がつかないで、文字通りにゴーゴリの描いた市長と同じやうなことをやつてゐるのを、非常に危な、かしく思ふのである。彼の『道しるべ』はやはり薬作りであり、彼等の活動はやはり只『道譜請に似せる』といふことである。それに彼等も『諸道具が多ければ多い程、如何にも勤勉らしく見えるといふ譯なんだ』と考へてゐるのである。そして最も重大なことは次のことである。

彼等が薬の道しるべを突立てようと思つてゐる擧の傍には、既に餘程前から（既に千八百八十年時代から）荷車四十臺もある、ごみくたがおぼり出されてゐる、然もやはり彼等はそれを忘れてゐるのである。それ故に若し彼等が彼等の後へロシヤのインティエリゲンツヤが従つて來ることを願つてゐるとするならば、彼等をして先づ第一に道路からそのやうな一切のごみくた、すべての不淨物を取り去らしむべきである。ロシヤのインティエリゲンツヤは、よしどのやうな缺點を持つてゐるにもせよ、道徳的に潔癖性であるから、汚ない道には決して歩まうとはしないのである。

他の言葉で云ふならば、このことは『罪を悔ゆるラズノチーニッツ達』をして介在的な、どっちつかずの人間達ときつぱり手を切らしめよといふことを意味するのである。多分その時には彼等の道しるべは、吾々が彼等に従つて歩むであらうところの、他の或る方向方を示すに相違ないのである。個性的生と社會的生との融合一致への方向、個性の幸福と民衆の幸福との一致への方向、内面的自由と外面的自由との融合一致への方向、即ち社會的地盤の上に發達する個性の重要視への方向を示すに相違ないのである。然しそれをしない間は『罪を悔ゆるラズノチーニッツ達』のタイプは、社會的意識の歴史家にとつては特別な、興味のあるタイプでもあらうが、社會的運動の歴史家にとつては殆ど意味のないものである。すべてのことはかう語つてゐる。——罪を悔ゆるラズノチーニッツ達はインティエリゲンツヤの特別な團體として残るであらう、そして現在彼等がインティエリゲンツヤのいろいろの團體に當て嵌めてゐるすべてのことは、彼等自身に當て嵌まることになるであらう云々。然しこのことは將來のことである。現在に於いては、只一般的な相によつて罪を悔ゆるラズノチーニッツ達のタイプを説明し、或ひは彼等の道しるべによつて示され



た方向に従つて歩みを進めるか、或ひは自己の道によつて歩みを進めるかといふことしかないのである。吾々にとつてはその何れを選択すべきかに就いて、少しも逡巡するところはない筈である。吾々はマハーエフ主義者達やウエーヒ主義者達のいろいろの断片的な言葉を正しいと認め、それに注意を拂つてゐるものであるが、その何れの道しるべも相反したどんづまりの方へ吾々を導いて行くことを認めるものである。そこで吾々はロシヤの大部分のインテリゲンツィヤが歩つて行つて来た、又今後も歩くであらうところのインテリゲンツィヤや自身の道に従つて、歩みを進めて居るのである。

インテリゲンツィヤ終

本會役員

會長 侯 爵 大隈 信常  
 理事長 市島 謙吉  
 編輯長 法學博士 浮田 和民  
 編輯理事 宮島 新三郎  
 理事 大鳥居 弁三  
 同 並木 覺太郎  
 同 森脇 美樹  
 同 杉山 重義  
 監事 廣井 一

大正十三年七月十日印刷  
 大正十三年七月十五日發行

インテリゲンツィヤ  
 毎月會費 參圓

編輯兼 發行所 大日本文明協會

右代表者 市島 謙吉  
 東京市牛込區早稻田町卅四番地  
 印刷者 渡邊 八太郎  
 東京市牛込區榎町七番地  
 印刷所 日清印刷株式會社  
 東京市牛込區榎町七番地

不許  
 複製

東京市牛込區早稻田町三十四番地

發行所 大日本文明協會事務所

電話牛込三五四二番  
 振替東京二一八九〇番  
 振替大阪六八五二〇番



◎本年度入會者は既刊々行書中希望の書を各冊參照にて購讀することを得。

大正十年度既刊々行書

(各冊三四)  
(全部三十四)

- 米國ウイレル・チエラント氏原著 西宮藤朝君譯  
**哲學と社會問題**  
Will Durant:—Philosophy & the Social Problems  
米國ヤモン・リーチ氏原著 柳田泉君譯  
**人と**  
John Leitch:—Man-to-Man  
米國アール・マックアイバー氏原著 田制佐重君譯  
**世界の變遷と労働**  
R. MacIver:—Labor in the Changing World  
英國ノイラム・モターウイエル氏原著 横山有策君譯  
**近代劇の研研**  
Hiram Mordewell:—The Theatre of To-day  
米國ヘンリー・マンダイク氏原著 奥俊郎君譯  
**亞米利加魂**  
Henry van Dyke:—The Spirit of America  
英國ロバート・マクナルト氏原著 煙山專太郎君譯  
**英國と其領土**  
Emil Deckert:—Das Britische Weltreich
- 英國グラハム・ウォラス氏原著 大島居芳三君譯  
**社會の心理的解剖**  
Graham Wallas:—The Great Society  
米國ロバート・ダンカン氏原著 小野寺一男君譯  
**現代科學の基礎**  
R. K. Dunkan:—The New Knowledge  
英國デー・ブラス氏原著 武者金吉君譯  
**生の神祕**  
S. D. Brath:—Mysteries of Life  
米國フランク・カールトン氏原著 田制佐重君譯  
**教育と産業の進化**  
F. T. Carlton:—Education & Industrial Evolution  
英國マクケンザリー・キング氏原著 宮澤未男君譯  
**産業の人道化**  
MacKenzy King:—Industry & Humanity  
英國ウイリヤム・カースン氏原著 幡谷正雄君譯  
**結婚の革命**  
William Carson:—The Marriage Revolt

大正十一年度既刊々行書

(各冊參照)  
(全部三十四)

- 獨逸スタイナー氏原著 鹽見潔君譯  
**三重組織の國家**  
Dr. Rudolf Steiner:—Der Dreifache Staat—Die Wilki-  
che Betrachtung der Sozialfrage  
英國マンヤミン・キングト氏原著 田制佐重君譯  
**社會遺傳**  
Benjamin Kidd:—Science of Power  
英國サー・モーラン・ケスター氏原著 武者金吉君譯  
**海陸の神祕**  
Sir F. Lancaster:—Secrets of Earth and Sea  
英國アライル・バーンス氏原著 竹内泰君譯  
**世界政治へまて**  
C. D. Burns:—International Politics & Political Ideas  
獨逸シモー・ロープ氏原著 宇田一君譯  
**生體論**  
J. Leeb:—The Organization as a whole  
英國サー・シモー・ローレンス氏原著 今村源三郎君譯  
**國際社會史論**  
T. J. Lawrence:—The Society of Nations
- 英國エヌ・ムーヤー氏原著 小島幸治君譯  
**近代英國社會主義史**  
N. Beer:—A History of British Socialism  
英國ウイリヤム・マロック氏原著 尾原亮太郎君譯  
**社會主義批判**  
William. H. Mallock:—A Critical Examination of So-  
cialism  
米國ホバーノー氏原著 照沼哲之助君譯  
**應用優生學**  
Paul Popenoe:—Applied Eugenics  
米國ホルン・レウキス氏原著 田制佐重君譯  
**現代の都市計畫**  
Nelson. P. Lewis:—The Planning of the Modern City  
英國アラマラ・ケネリー女史原著 大島居芳三君譯  
**婦人解放と性の懷滅**  
Arabella Kenaly:—Feminism & Sex-Extinction  
英國ラルフ・トライン氏原著 塚越菊治君譯  
**無限生活**  
R. W. Trine:—In Tune with the Infinite

◎本年度入會者は既刊々行書中希望の書を各冊參照にて購讀することを得。



◎本年度入會者は既刊々行書中希望の書を各冊券圖にて購讀することを得。

### 大正十二年度既刊々行書

(各冊三四 全部三十冊)

大隈重信侯遺著

**東西文明の調和**

英國ラブソン・スミス氏原著 武者金吉君譯

**百歳不老**

A. L. Smith:—How to be useful and Happy from Sixty to Ninety

佛國ヌタンダール氏原著 大戸徹誠君譯

**性愛**

Stendhal (Henri Bayle):—D. l'Amour

伊國前首相ニッナイ氏原著 村田勤君譯

**平和なき歐羅巴**

F. Nititi:—The Peaceless Europe

露國ニコライ・ニコロヴァイン氏原著 赤司繁太郎君譯

**今日の太平洋問題**

N. Golovin:—The Problem of the Pacific in the Twentieth Century

佛國モミール・ブートロー氏原著 村山勇三君譯

**哲學に於ける科學と宗教**

Boutroux:—Science et Religion dans la Philosophie Contemporaine

英國ギルバート・キヤナン氏原著 飯田敏君譯

**社會組織の解剖**

G. Cunnant:—The Anatomy of Society

英國ジョセフ・マックタープ氏原著 武者金吉君譯

**世界の終り**

Joseph McCabe:—The End of the World

米國リンズマン氏原著 山崎勉治君譯

**輿論**

Walter Lippman:—Public Opinion

米國ダブリエー・マトリック氏原著 薄田貞敬君譯

**弛緩心理論**

W. Patrick:—The Psychology of Relaxation

米國ダブリエー・マツチンメン氏原著 青木茂君譯

**文明と保健**

W. Hutchinson:—Civilization and Health

英國サモナー・デー・イッチ・コール氏原著 竹内泰君譯

**社會理想學**

George G. H. Cole:—Social Theory



390  
74A



終

